



令和5年3月7日

各位

株式会社松浦機械製作所
代表取締役社長 松浦勝俊

DX 戦略 推進活動報告（2021-2022 年度）

2021年5月に策定しましたDX戦略について、2021-2022年度における推進活動の成果・進捗を以下の通り、報告致します。

1. はじめに

当社は人口減少の急激な変化に対応しつつ、お客様へのサポートを十分に供給できる体制を強化することを目指し活動を行っています。

2. DX 戦略概要とその進捗

① 動画制作能力の強化

1) 目標

動画撮影・編集できる人材をDX推進室で育成し、各本部で以下の様に動画活用を推進します。

- ▶ 販促用動画の供給体制を強化。営業販促資料（ユーザーインタビュー・カタログ）を電子化・動画化してオンラインで公開。
- ▶ 採用活動の動画利用促進。動画で分かる社員・業務紹介。
- ▶ 組立・メンテナンス手順書の動画化。海外子会社・代理店のトレーニング効率化。

2) 成果・進捗

現在、組立本部と品質本部にて動画担当者が1名ずつ在席し、動画制作と活用が進んでいます。組立本部では作業手順ガイダンスや安全衛生教育、品質本部ではお客様向けのメンテナンス手順に関する動画を主に制作しています。DX推進室は営業本部と経営企画室と協同で、販促や採用活動の動画を制作しています。

また、2022年には会員制サイト MyMatsuura のサービスを開始しました。設備機の自動化・無人化に向けた操作マニュアルやメンテナンス手順など、効率的な工場運営に役立つ情報を動画・画像で確認することが出来るマツウラユーザー様限定の会員制サービスです。こちらのサイト上に制作した動画を随時公開していくことで、問い合わせ対応の社内工数の低減を図りつつ、お客様の困りごとの早期解決を目指します。

こんなお悩み
ありませんか？



- 加工精度が出ない
- キャリブレーションのやり方がわからない
- フィルタの交換時期になったが交換方法がわからない
- 新人オペレータに教育してあげる時間がない
- 機械導入時に操作説明を受けたが記憶が曖昧でやり方が合っているか不安

ココですべて解決

My Matsuura

My Matsuuraとは

設備機の自動化・無人化に向けた操作マニュアルやメンテナンス手順など、効率的な工場運営に役立つ情報を動画・画像で確認することができる会員制サービスです。

WEBサイトにアクセスいただければ、今まで「知らない」という理由で使っていなかった機能のフル活用が可能となり、

- ✓ 加工やメンテナンスのお困りごとの解決
- ✓ トラブルシューティングに要する時間・コストの削減
- ✓ 機械導入時のスムーズな立ち上がり
- ✓ 新人オペレータの育成サポート
- ✓ 設備機の生産性の向上

などの効果が期待できます。



② 社内業務の効率化

1) 目標

社内システムを最適化し、品質の安定化と業務の効率化をはかり、高い信頼性の機械を迅速に出荷する体制を構築します。そのために、製造から事務まで一気通貫したシステム上の情報連携を展開し、データによる定量評価にこだわった見える化を実現します。

2) 成果・進捗

現在、システムベンダーと共に要件定義を行っています。社内の全業務に関わる基幹システムの刷新と EDI 取引、クラウド等の新機能の導入を通して以下の実現を目指します。

- 納入リードタイムの短縮
- 顧客仕様対応の迅速化・効率化
- 開発から保守に至るまで、全体最適が図られた BOM システムの実現
- 変種変量生産を実現する仕組みの確立

今後のスケジュール

2023年10月	要件定義完了
2024年4月	概要設計完了
2024年12月	システム構築完了
2025年8月	総合テスト完了・システム運用開始

③ デジタル技術を利用したキーテクノロジーの進化

1) 目標

マツウラの工作機械の強みである自動化・高速高精度・使いやすさのキーテクノロジーに AI や IoT のデジタル技術を組み込み、新製品に高付加価値を創出します。そのために、AI 機能に特化したエンジニアを育成し、新設した要素技術開発チームで技術開発を行います。

2) 成果・進捗

技術者に AI 関連の外部の教育プログラムを実施し、日本ディープラーニング協会の主催する G 検定の合格者は 4 名となっています。2022 年には 10 年ぶりに操作画面の UI デザイン刷新を行い、直感的な操作性を実現する新マツウラオペレーティングシステムを標準搭載しました。以下のような新規機能（オプション含む）を提供しています。

- 生産効率の最適化のため、機械の稼働状況を NC 画面で見える化した「稼働状況監視機能(設備総合効率(OEE)の指標で稼働監視)」
- 機械のダウンタイム削減に貢献する機能として、機内状態を監視できる「機内カメラ」
- 離れた場所でも稼働状況監視やパレットスケジュール編集を可能にする「Matsuura Remote Monitoring System」
- QR コードを利用した「MyMatsuura」との連携により操作ガイダンス動画の閲覧

今後も操作性向上による作業負荷低減と安心・確実な無人運転を実現するために、デジタル技術を組み込んだ機能開発を推進してまいります。

以上